

リリムジカは“心をこめた音楽”という意味。「介護と音楽」をテーマに役に立つ情報をまごころこめてお届けします。

「耳が聞こえないので歌えません！」とおっしゃっていた兼田さん

グループホームに住む兼田さん(80代女性・仮名)は、補聴器をつけて生活されています。そのホームではセッション導入から8ヶ月後、担当ファシリテーター(FT)の交代がありました。新しいFTになってから2回目のセッションが始まると、兼田さんは次のようにおっしゃいました。「私は耳が聞こえないので、歌えません！」そして席を立とうとされました。職員さんは「これまでは普通に参加されていたのですが・・・」と困惑されていました。そこでFTは次の回のセッション開始直後、「聴いてくださるだけでも結構です」とお伝えしました。兼田さんに対して嫌なことを強いる存在ではないと認識していただくためです。すると兼田さんは途中で席を立たれることなく、楽器も鳴らされました。それから毎回、FTはセッションの始まりに「聴いてくださるだけでも結構です」とお伝えしました。「歌えません！」とお話された回から6回目のセッションで、兼田さんは「春の小川」「おぼろ月夜」「ふるさと」等を歌われました。そのご様子を見た職員さんは「兼田さん、声出して歌われていましたね！」とおっしゃいました。

Q&Aコーナー

なじみの曲と新しい曲、どちらが楽しめるのでしょうか？

介護の現場での音楽と言うと、童謡や昔の歌謡曲など高齢者になじみのある曲が良いとされます。歌いやすかったり、回想につながったりするからです。では、新しい曲を楽しむのは難しいのでしょうか。実は必ずしもそうではありません。たとえ新しい曲でも、ふれる機会の多い曲であれば楽しめることがあります。少し前であれば「千の風になって」、最近であればNHKでよく流れる「花は咲く」でしょうか。グループによっては、私たちもこれらの曲をセッションに取り入れています。デイサービスのご利用者で「テレビを消そうと思った瞬間『花は咲く』が聞こえてきたから、最後まで見たんだよ」という方もいらっしゃいました。参加者さんの反応を見たり、希望を取り入れたりしながら楽しい音楽の場をつくりたいものです。

うさ子の奮闘記 第9話

「4つのお約束①」

私たちが、音楽プログラムの参加者様に4つのお約束をしています。
そのうちのひとつが・・・

あなたが歌いたい曲をご用意します！

でも、「やりたい曲」ってどうやってわかるのでしょうか？

やりたい曲、教えてください！

・・・

例えば試しに曲をお持ちして反応をみます。

この曲好き！

映画何回も見たよ

美空ひばりが好きだよ

関連する曲をお持ちしながら、少しずつ好みの曲を探っていきます。

職員さんのお話も貴重な情報源です。

〇〇さん、以前コーラスをされていたそうですね！